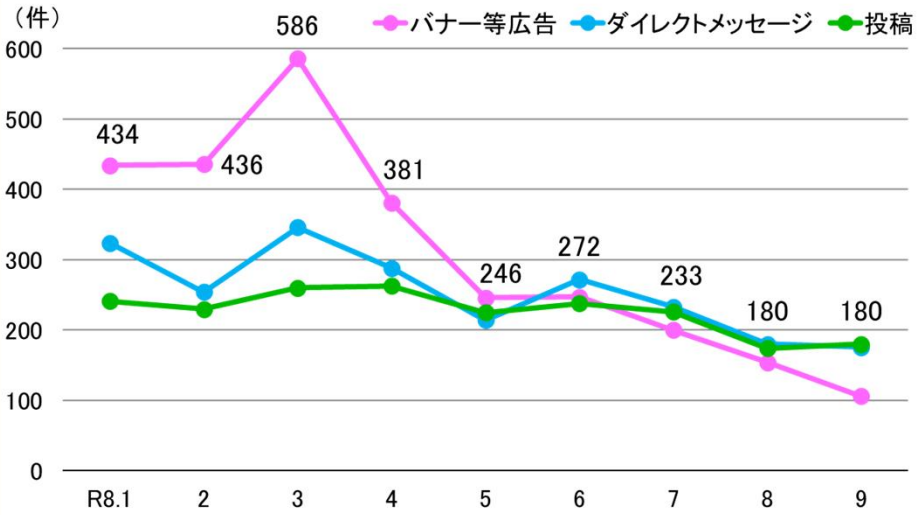
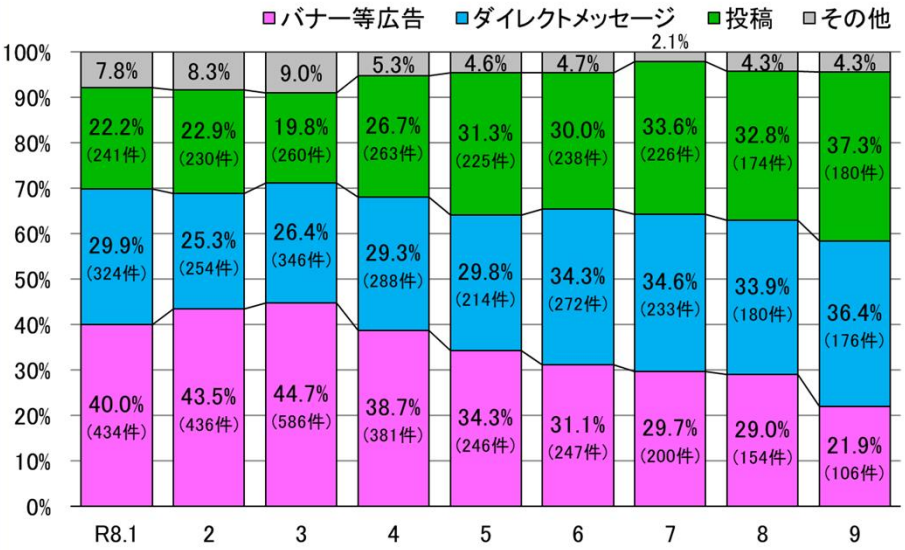
最近のSNS型投資詐欺の特徴について（令和8年9月末時点）

認知件数 7,580件、被害額 991.0億円（前年同期比＋1,661件、＋212.2億円）

【当初接触手段の推移】

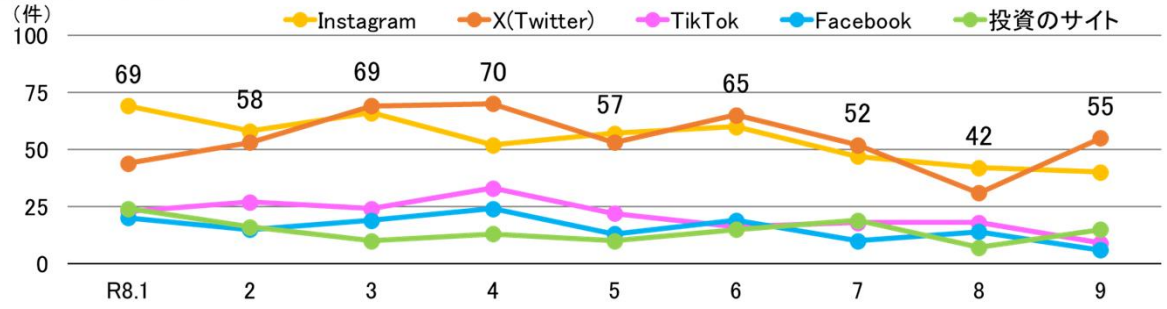


【当初接触手段の推移（割合）】



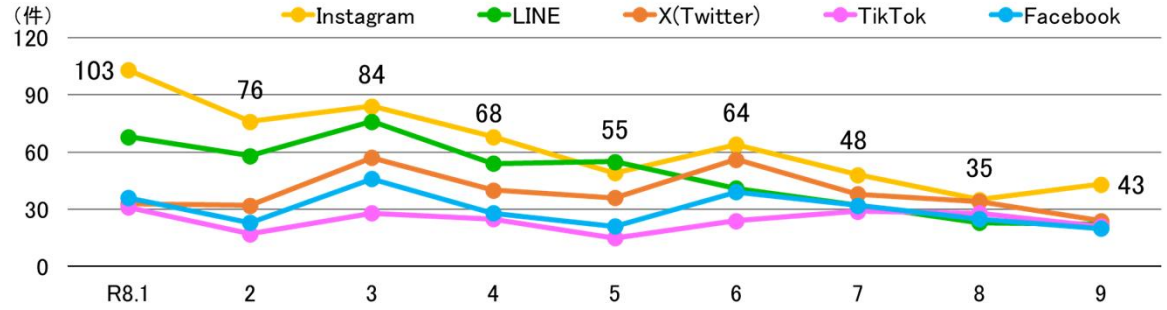
バナー等広告の割合が減少し、投稿の割合が増加

【投稿の推移】



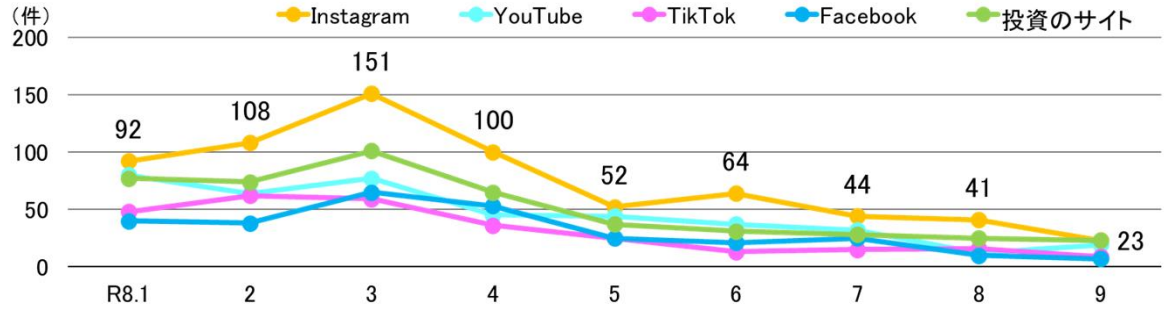
InstagramとX（Twitter）で約5割を占める

【ダイレクトメッセージの推移】



6月以降、Instagramが再び最多に

【バナー等広告の推移】

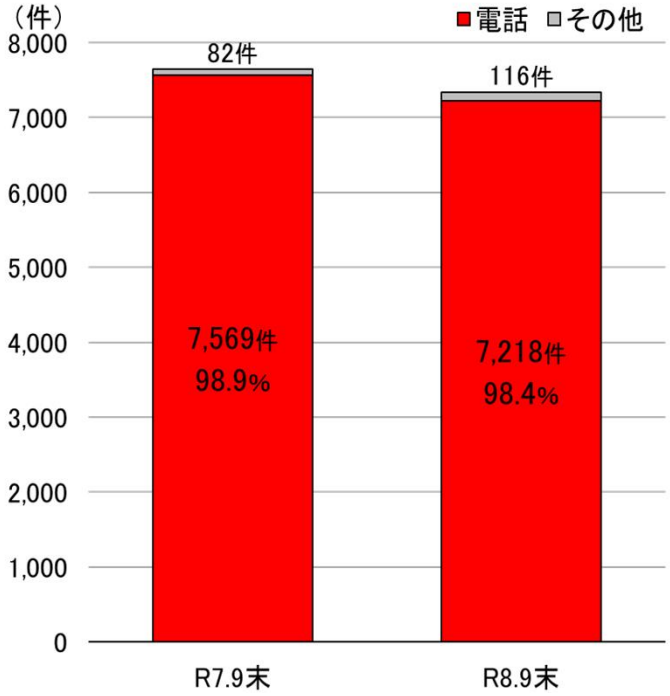


全体的に4月から減少傾向が見られる

最近のニセ警察詐欺の特徴について（令和8年9月末時点）

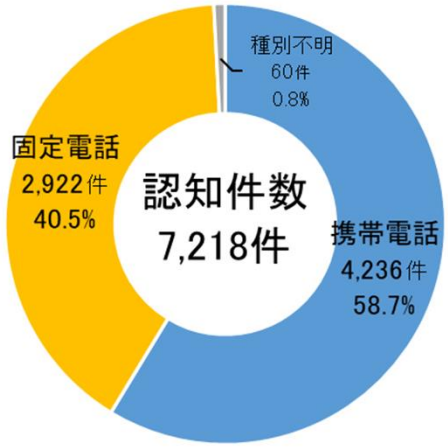
認知件数　7,334件、被害額　842.8億円（前年同期比−317件、＋171.9億円）
当初接触ツールは電話が7,218件で全体の9割以上を占める状況が継続

【認知件数の推移】

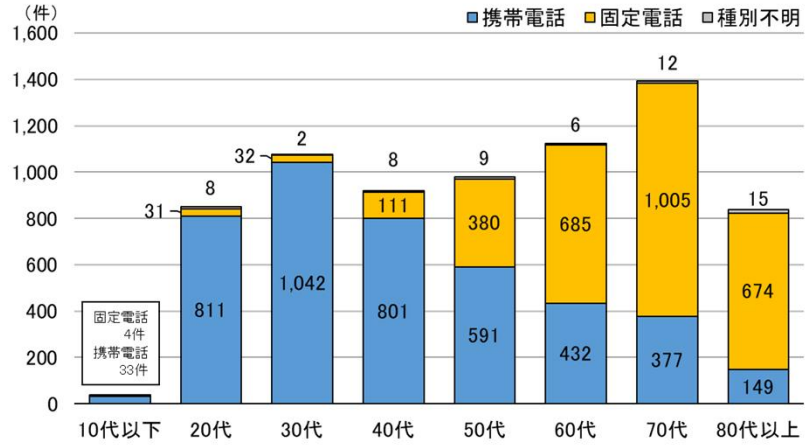


当初接触ツール（電話）について

【当初接触ツール（電話）の内訳】



【当初接触ツール（電話）の年代別内訳】

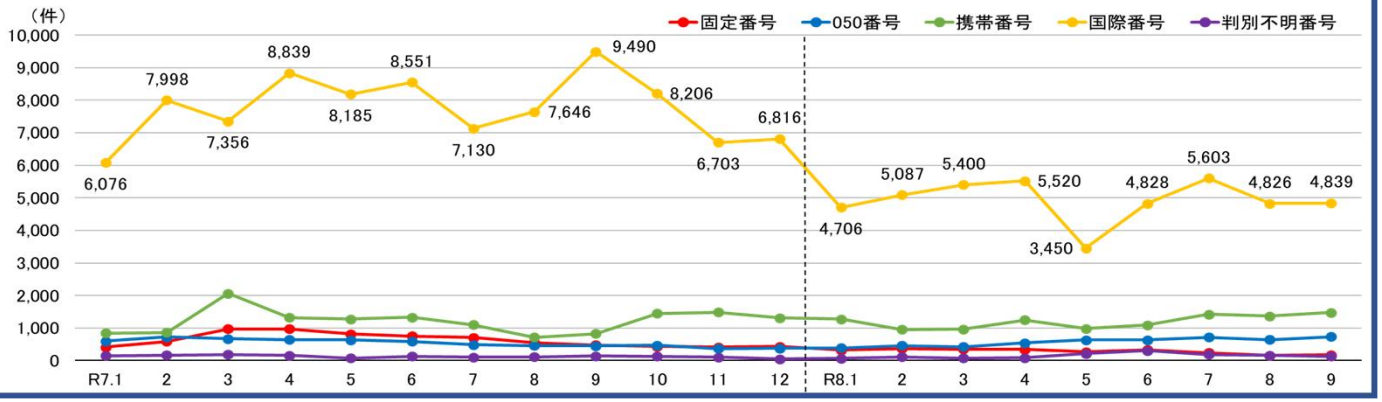


✓　携帯電話が全体の約6割を占める
✓　50代以下は携帯電話、60代以上は固定電話が半数以上を占めており、50代と60代を境に当初接触ツールの割合が入れ替わる

特殊詐欺（全体）に犯行利用された番号種別

✓　引き続き、国際電話番号が約7割と高い割合を占める

【特殊詐欺（全体）に犯行利用された番号種別の推移】



※　「特殊詐欺の犯行に利用された電話番号数」として、都道府県から警察庁に報告された電話番号を集計（未遂・相談事案を含む）
※　都道府県から報告された電話番号が重複する場合、1件として計上。ただし、月をまたいで同一番号の報告があった場合は、各月1件として計上

ニセ警察官にだまされないためのチェックリスト

警察は以下の事項をすることはありません

- ☑ **「＋」から始まる国際電話番号** から電話をすること
- ☑ **ＳＮＳ** で連絡をしたり、**ビデオ通話** で警察手帳を見せて取調べをすること
- ☑ 逮捕状や捜索差押許可状などの **捜査書類について、ＳＮＳで画像を送ったり、郵送したりする** こと
- ☑ インターネットで **警察職員の名前を検索** してみるよう言うこと

誰もがだまされるおそれがあります

犯人側と接触せずに済む環境を実現することが重要です

スマートフォン

詐欺の電話を自動でブロックできる

警察庁推奨アプリ

が無料で利用できます。

警察庁ウェブサイト
『警察庁推奨アプリ』

固定電話

国際電話の発着信を無償で休止できる

国際電話不取扱受付センター

に申込みをお願いします。

警察庁ウェブサイト
『みんとめ』